

観察会報告  
県立浜北森林公園ハッチョウトンボ観察会  
横山謙二



ハッチョウトンボを探す様子



ハッチョウトンボ♂

7月7日、県立浜北森林公園にて自然観察会を行いました。この観察会の目的は、この時期に見られる世界最小クラスのトンボのハッチョウトンボを観察することです。ハッチョウトンボ♂は、小さいという特徴以外は、全身が真っ赤で、翅の根本が黄色を帯び、ショウジョウトンボ♂に似ています。県の絶滅危惧種に指定され、県内ではもう浜北周辺でしか見られないトンボです。

観察会当日は、雨が時おりぱらつくような、曇りがちな天気でしたが、このトンボを見るために12名の参加者がありました。実は、私は、この観察会の前々日にハッチョウトンボが全く発生していないという情報を聞いていて、とても心配をしていました。その心配もあって観察会当日、私は観察会が始まる2時間前に浜北森林公園に到着し、一人でハッチョウトンボを探していました。

雨がぱらつく中、一人でハッチョウトンボのいる湿地に行くと、すぐに2、3mほど離れたところに、赤い体のハッチョウトンボ♂を見つけることができました。ハッチョウトンボは、1円玉より少し大きい位です。そのハッチョウトンボは草に止まり、近づいてもほとんど動きません。おかげで、写真がゆっくり撮れました。その後も、その付近に5匹の♂が観察できました。

ハッチョウトンボが見れたことで安心し、集

合場所に戻り、参加者の皆さんが来るのを待つことにしました。そして、10時30分に参加者がそろい、観察会を開始しました。はじめに講師をお願いした福井さんよりハッチョウトンボについて説明していただきました。その後、浜北バードピアの瀬下さんの案内のもと、ハッチョウトンボが見れる湿地に向かいました。

その途中、冬虫夏草のカメムシダケや園内を流れる小川沿いでは、アカハライモリやツチガエル、タゴガエルなどを観察することができました。

そして湿地につくと、さっそくお目当てのハッチョウトンボを皆さんとともに見ることができました。早朝よりも多くの10個体ほど見られ、♀もいました。参加者の皆さんも一人一人写真を撮り、じっくりと観察することができました。

ハッチョウトンボを満足いくまで観察した後は、浜北バードピアに戻る途中で、モノサシトンボやキイトンボなどのトンボも観察でき、またサンコウチョウを目の前で見ることができました。

浜北バードピアでは、森林公園で見られる昆虫などの標本を見せていただきながら、瀬下さんより、森林公園で見られる野鳥などの説明をしていただきました。森林公園は、ハッチョウトンボ以外にも、野鳥など様々な観察会の企画ができそうです。